

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

～目 次～

◆ 重点項目の実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
◆ 法人運営事業【総務係】	・ ・ ・ ・ ・	P6
◆ 地域福祉事業【地域福祉係】	・ ・ ・ ・ ・	P14
◆ 生活支援事業【生活支援係】	・ ・ ・ ・ ・	P30
◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】	・ ・ ・ ・ ・	P41
◆ 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】	・ ・ ・ ・ ・	P53
◆ その他	・ ・ ・ ・ ・	P59
◆ 事務機構図	・ ・ ・ ・ ・	P60

令和 6 年度 事業報告

令和 6 年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉計画及び中期経営計画、年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

＜重点項目の実績＞

1 組織基盤の強化

〔実績評価及び今後の課題〕

中期経営計画に基づき、法人の使命、経営理念の実現に向け、組織基盤の強化に努めました。

本年度は、特別会員として 6 件の加入があり、会員の拡充を図ることができました。今後も引き続き、周知を行い加入促進を図っていきます。一方で、リスク管理やコンプライアンスに対する管理体制の強化への具体的な取り組みを行うことはできませんでした。令和 7 年度は、各係で業務におけるリスクを洗い出すとともに協議、検討を行い、管理体制の整備を進めていきます。

財政面においては、令和 6 年度の法人全体の収支状況は昨年度に続き、プラスの収支差額となりました。生活介護事業所（つくしの家）及び計画相談支援事業所では、利用者の増に伴い、収入も増加し、安定した収支状況となっています。しかし、訪問介護事業所拠点区分では、利用者の減により、本年度も実質マイナス収支差額となりました。三役会等で福祉サービス事業についての経営分析、協議を行い、今後も安定した事業経営を行っていきます。

また、人材確保については、本年度に令和 7 年度に向けての採用試験を行い、欠員となっていた正規職員及び嘱託職員を採用することができました。引き続き、人材育成計画・研修計画に基づき、職員一人ひとりが自己研鑽に努め、職員相互が成長し合える環境づくりを目指し取り組んでいきます。

2 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市が令和 4 年度から取り組んでいる本事業について、本会としても市と一体となって、複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談支援包括化推進員と本会に配置しているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が連携し、課題解決に向けて取り組みました。

様々な関係機関に説明を行ってきたことで、少しずつ認知されてきており、特に市の窓口業務を担う部署や、教育機関においては連携がスムーズに行えるようになってきています。また、多機関協働による包括的支援体制について、他市町村協から事業内容の問い合わせがある際に、参考にいただけるよう資料などの情報提供を行っています。

令和 6 年度の相談件数は、新規 89 件（前年比＋24）、延べ 1,555 件（前年比＋155）と多くの相談支援にあたりました。

令和 6 年 7 月に開催された地域福祉シンポジウムでは、亀山版重層的支援体制整備事業のこれ

から重点的に取り組んでいく「参加支援事業」につながるテーマで開催し、約 250 名の関係者や市民の方に参加していただきました。現在、生活困窮者自立支援事業の就労準備支援事業と連動しながら、就労継続支援 B 型事業所、小売店などの一般の商店以外に、一般企業にも事業同意いただき、少しずつ開拓を進めており、本年度は 4 名の方が利用につながり、今後も需要が見込まれます。

今後も引き続き、重層的支援体制整備事業の中で位置づけられている「包括的相談支援事業」「多機関協働事業」「アウトリーチ事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」の各事業について、本会に配置している、各部門の専門職が各機関と情報共有・連携しながら個別支援、地域支援、しくみづくりを行い、コミュニティソーシャルワークの充実に努めていきます。

3 就労準備支援事業の実施

〔実績評価及び今後の課題〕

生活困窮者自立支援事業の自立相談支援事業（必須事業）及び家計改善支援事業（任意事業）に加え、令和 6 年度から就労準備支援事業（任意事業）も市から受託し、国の法改正に合わせた三事業を一体的に実施しました。就労準備支援事業の周知のため、就労継続支援 B 型事業所やハローワーク、若者就業サポートステーション・みえ等就労に関する機関を 8 か所訪問し、事業の説明や現在の状況・課題等について意見交換を行いました。

また、相談者への対応としては、長期間未就労の状態で、今すぐに仕事に就くことが難しい方や職場定着に不安のある方等に、就労機会の提供や一般就労に向けたサポートを行いました。就労体験等協力事業所を定期的に訪問し、体験での状況や課題を本人と事業所の担当者と一緒に振り返るなど、今後に向けて少しずつでもステップアップができるよう丁寧な支援を行いました。

事業利用者はまだ少ないですが、今後も参加支援（就労体験等）事業と連動させながら事業の推進を図っていきます。

4 成年後見サポート事業の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

令和 6 年度の相談件数は新規 39 件、延べ相談件数 177 件で前年度に比べ少し増加しました。新規相談内容の中では、判断能力が不十分な親族の預貯金管理に関することが最も多く、子どもをはじめ、兄弟姉妹、親、配偶者、親戚などから相談が寄せられています。中には頼れる親族がいない方（本人）からの相談や地域包括支援センター等関係機関からの相談も増えてきていることから、引き続き、市民や関係機関に相談窓口の周知を図っていきます。

また、成年後見制度の概要等を周知するため、市と地域包括支援センター（基幹型・第 1・第 2）との共催で市民・関係機関を対象に成年後見セミナーを開催しました。事例を交えながら制度についてわかりやすく説明し、41 名の方にご参加いただきました。

昨年度に引き続き、市と市内すべての金融機関を訪問し、連携のあり方等について、意見交換、協議を行いました。また、本年度は鈴鹿亀山消費生活センターと三重県消費生活センターを訪問し、新たに「情報共有連絡票」の作成、提案を行い、連絡票を用いた支援が必要な方への情報共有の仕組みづくりに繋げました。また、自分自身に何かあったときに備えて、家族等が様々な判断や手続きを進める際に必要な情報を残すためのものであるエンディングノートを市と合同で作成し、市民等に周知、配布しました。

さらには、本会が後見人業務を担う法人後見についても、従来から受任していた 1 件に加え、本年度新たに 1 件受任いたしました。今後も市と連携しながら相談体制の充実を図り、本事業の推進に努めていきます。

5 地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

〔実績評価及び今後の課題〕

鈴鹿亀山地区広域連合から基幹型地域包括支援センターを受託し、困難事例等の対応支援や地域ケア個別会議・圏域会議の開催支援等、各地域包括支援センターの運営業務の後方支援を行ってきました。

多職種の専門的な助言を通じケアマネジメントの質の向上につなげる自立支援型地域ケア会議を定期的に開催するほか、亀山主任介護支援専門員連絡会で災害対応についての課題について研修及び意見交換を行うなど、市内の介護支援専門員に対して情報提供を行い、地域包括支援センターとともに市内の介護支援専門員のスキル向上に努めました。また、高齢者虐待防止に関して、令和 6 年度から全ての介護サービス事業所において虐待防止措置が義務化されたことから、昨年度に引き続き、福祉サービス事業所を対象とした高齢者虐待防止研修会を行い、事例検討を通じて理解を深めました。今後も職種ごとのワーキングや研修会等を継続的に開催し、運営業務の平準化を図るとともに、地域ケア会議を通じて地域課題の把握や、地域支援ネットワークの構築に努めていきます。

生活支援コーディネーターが中心となって推進している、地域における支え合い・助け合いのしくみであるちょこボラ（ちょこっと・ボランティア）については、新たに川崎地区まちづくり協議会の「川崎サポート隊」が立ち上がり、現在市内 5 地区の地域まちづくり協議会が活動に取り組んでいます。引き続き地域の状況を把握しながら継続的に支援を行うとともに、新たな立ち上げも支援していきます。

認知症の人やその家族への相談業務や認知症に対する正しい知識の普及のため、市と社協に配置している認知症地域支援推進員が中心となり、認知症カフェや認知症サポーター養成講座を開催するとともに、チームオレンジの活動支援を行いました。また、認知症初期集中支援チームが本人や家族、地域の支援者等から相談を受け、医療機関や福祉サービスにつながるように支援をしています。様々な機会を通じて周知・啓発に努めていることから、相談件数及び支援対象者も増えています。今後も市と連携し、事業の推進を図っていきます。

6 ボランティア活動の推進及び災害ボランティアセンターの機能強化

〔実績評価及び今後の課題〕

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。

本年度は、市民活動やボランティア活動の更なる活性化や、支援の充実につなげることを目的に、亀山市と協働し、ボランティアセンターの機能を市民協働センターみらいに集約し、中間支援機能を有した相談支援機関の設置に向けた検討を行いました。

今後もニーズや状況に応じて、生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーと連携し、ボランティアや市民活動による支援を必要としている人と活動団体をつなげるコーデ

インターネット機能の強化を図りながら、新たに設置される市民活動・ボランティアセンターの運営を市とともに推進していきます。

災害ボランティアセンターについては、行政をはじめ関係団体、ボランティア、近隣社協など多数の関係機関の参画のもと、初めて総合保健福祉センター「あいあい」にて設置・運営訓練を開催しました。受付時やニーズ把握においてキントーンアプリを導入したり、のぼり旗を作成し導線を明確にするなど内容を充実させるとともに、本年度から市内高校生にも参画いただき、実際の災害時を想定した訓練を行うことができました。

また、広域的な災害に備え三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会では昨年度に引き続き研修会を実施し、平時より顔の見える関係性を構築し、連携強化に努めています。

7 サロン活動の推進

〔実績評価及び今後の課題〕

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンは、新規で6か所立ち上がり計88か所（前年比+3）、子育て中の親子対象の子育てサロンは計5か所（前年比+1）、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンは計14か所（前年比△1）となりました。昨年度と比較して3か所増の合計107か所でサロン活動が行われました。各サロンに助成を行うとともに、地域の状況や福祉課題の把握に努め、活動の情報発信を行いました。

また、生活支援コーディネーターが全てのふれあい・いきいきサロンの訪問を実施し、活動状況の把握を行うとともに、介護予防を意識して活動してもらうよう働きかけ、改めて社協の貸出備品や出前講座の活用について周知したことで、備品の貸出の希望や、出前講座の利用につながりました。

一方では、後継者がおらず活動の継続が難しい状況にあるという声も聞かれたことから、今後とも身近な地域の通いの場としてのサロン活動が継続されるよう取り組んでいきます。

8 福祉教育推進事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

市内の学校（園）に様々な福祉体験学習やボランティア活動、地域のサロンとの交流を通して、福祉に関する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しました。令和5年度より2年間、川崎愛児園、昼生小学校、亀山高等学校の3校（園）をモデル校に指定し、社協と協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みました。

また、中学生福祉体験教室について市内の高齢者、障がい者施設・事業所、市内の私立保育所に受入れしていただき、若い世代が広く福祉の現場に触れる機会がもてるように取り組みました。

モデル校以外の学校からの車いす体験や点字ブロック、ユニバーサルデザインについてなどの福祉教育の授業依頼もあり、その中で視覚障がい者の方との出会いを通じて、市内小学生が交流を続けて絵本を作成し、それを音訳ボランティア団体とCDにし図書館に寄贈するというようなつながりやひろがりの活動を一緒に取り組むことができました。

引き続き、本会のすべての部門の職員が福祉教育の視点を持ち、本事業に参画し、専門性を活かして学校と関われるよう、引き続き学校（園）と連携しながら積極的な福祉教育の推進に取り組んでいきます。

9 福祉サービス事業の充実

〔実績評価及び今後の課題〕

生活介護事業「つくしの家」の運営については、コロナ禍で中止していた、行事や地域交流も以前のように活発に行えるようになってきました。日々の活動においては新たな取り組みとして、利用者自身が「食」に興味を持ってもらい、少しでも“自分でできること”を増やすことを目的に調理の日を取り入れました。生活力の向上・体力づくりなど目的を明確にし、個別支援計画に基づいて引き続き、利用者一人ひとりに合った支援を行っていきます。

特定・障害児相談支援事業所を含めた障害福祉サービス事業所としての収支状況は、利用者増によりプラス収支差額となりました。今後も継続して安定した経営に努めていきます。

訪問介護・居宅介護事業については、常勤職員の退職等に伴い、利用者の減及び新規利用者の受入ができなかったことから、収支状況は実質マイナス収支差額となりました。今後の事業運営について、安定した経営を目指し協議、検討を重ねていく必要があります。

また、本年度から各事業所で実施が義務化された「感染症対策の強化に係る取り組み」「障がい者虐待防止に係る取り組み」については、各委員会を設置し、職員が共通の理解をもって支援が行えるよう体制整備に努めました。

職員研修やミーティングをとおして、普段からコミュニケーションを図りながら協力し合える職場環境づくりに取り組み、関係機関と連携しながら信頼される事業所運営に努めていきます。

10 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市内に事業所を持つ社会福祉法人（13 法人）が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局業務等の支援を行いました。人材確保・人材育成が各法人共通の課題であることから、全体会では外部の講師を招き、亀山市の福祉の魅力発信力向上を目指した研修と意見交換を行うなど他の法人の状況や悩み、課題を共有・検討できる良い機会となっています。

また、本年度は社会福祉法人が国民・地域住民の生活を守り、地域のセーフティーネットの役割を果たしていくため、物価高騰対策として、社会福祉施設・事業所を対象に重点支援地方交付金による財政支援を検討していただきたく亀山市に要望書を提出しました。

今後も市内の法人が相互協力し合いながら地域における公益的な取り組みを推進していきます。

1 法人運営事業【総務係】

1 会務の運営

①理事会（5回）

第1回 令和6年4月30日（火）【書面決議】

議 題

- 議案第1号 令和6年度共同募金配分金の助成について
- 議案第2号 正規職員育児・介護休業規程の一部改正について
- 議案第3号 第1回評議員会の招集について

第2回 令和6年6月4日（火）【出席者】理事9名、監事2名

議 題

- 議案第1号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第2号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会心配ごと相談所相談員の選任について
- 議案第4号 令和5年度 事業報告及び決算について
- 議案第5号 令和6年度 資金収支（一次）補正予算について
- 議案第6号 第2回評議員会の招集について
- 報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第3回 令和6年12月2日（月）【出席者】理事10名、監事2名

議 題

- 議案第1号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第2号 令和6年度 資金収支（二次）補正予算について
- 議案第3号 第3回評議員会の招集について
- 報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第4回 令和7年2月27日（木）【出席者】理事9名、監事2名

議 題

- 議案第1号 定款の変更について
- 議案第2号 正規職員就業規則の一部改正について
- 議案第3号 正規職員育児・介護休業規程の一部改正について
- 議案第4号 正規職員賃金規程の一部改正について
- 議案第5号 日常生活自立支援事業利用料助成規程の一部改正について
- 議案第6号 令和6年度 資金収支（三次）補正予算について
- 議案第7号 令和7年度 事業計画及び資金収支予算について
- 議案第8号 令和7年度 役員等賠償責任保険契約について
- 議案第9号 第4回評議員会の招集について

第5回 令和7年3月28日（金）【書面決議】

議 題

議案第1号 正規職員賃金規程の一部改正について

②評議員会（4回）

第1回 令和6年5月13日（月）【書面決議】

議 題

議案第1号 理事の選任について

第2回 令和6年6月24日（月）【出席者】評議員15名

議 題

議案第1号 令和5年度 事業報告及び決算について

議案第2号 令和6年度 資金収支（一次）補正予算について

第3回 令和6年12月18日（水）【出席者】評議員15名

議 題

議案第1号 令和6年度 資金収支（二次）補正予算について

報告事項 令和6年度 中間事業報告（令和6年4月～9月）について

第4回 令和7年3月10日（月）【出席者】評議員14名

議 題

議案第1号 定款の変更について

議案第2号 令和6年度 資金収支（三次）補正予算について

議案第3号 令和7年度 事業計画及び資金収支予算について

③評議員選任・解任委員会（1回）

第1回 令和6年6月6日（木）【出席者】選任・解任委員5名

議 題 評議員の選任について

④監事監査（2回）

第1回 令和6年5月27日（月）【出席者】監事2名

議 題 令和5年度 事業報告及び収支決算の監査について

第2回 令和6年10月30日（水）【出席者】監事2名

議 題 令和6年度中間監査について（令和6年4月～9月）

⑤三役会（会長・副会長・常務理事）（6回）

第1回 令和6年4月25日（木）

議 題 （1）理事会（書面決議）及び評議員会（書面決議）提出議案について

（2）令和6年度福祉ボランティア基金助成について

（3）各系の目標について

第2回 令和6年5月23日（木）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第3回 令和6年8月29日（木）

議 題 （1）令和7年度 正規職員採用試験について

第4回 令和6年10月28日（月）

議 題 （1）令和6年度 中間事業報告（令和6年4月～9月）について

第5回 令和6年11月22日（金）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

第6回 令和7年2月14日（金）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

⑥第三者委員報告会

利用者等からの苦情に対して社会性や客観性を確保するとともに、利用者等の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を選任し報告会を行いました。

実施日 令和7年3月26日（水）

場 所 社会福祉センター

内 容 令和6年度 苦情受付件数及び対応件数 2件

（うち話し合いへの第三者委員の助言、立ち合い 0件）

⑦各種団体等への事業説明・意見交換会

（1）亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 令和6年8月6日（火）

場 所 市役所 第1・2・3委員会室

内 容 社会福祉協議会との意見交換会

出席者 会長他職員5名

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

(単位：件、円)

実施期間	普通会員	特別会員	6 年度	5 年度	増減額
7 月	10,561	6	3,426,235	3,410,160	16,075

②中期経営計画の推進

法人の使命・経営理念の実現に向け、地域福祉を推進する組織として、本会が将来にわたって安定的に事業を継続するための中期経営計画の推進について、単年度ごとの進捗状況を理事会において評価し、評価シートをホームページに公開しました。

[計画期間 令和4年度～令和8年度(5年間)]

③人材育成計画・研修計画の推進

人材育成計画に基づき、各係の目標を設定し、職員面談等を行いながら、各職員が係の目標に到達できるよう取り組むべき行動目標を示すとともに、職員別育成計画書に基づき、職員の人材育成に取り組みました。また毎年策定する研修計画に基づき、職員に対し階層別研修及び専門研修を計画的に実施しました。

④職員の相互理解を深めるための職員ミーティングの実施

中堅職員が中心となり、職員同士の相互理解を深め、コミュニケーションの円滑化を図ることを目的とし、月1回、係を超えた職員ミーティングを実施しました。

実施回数 12回

⑤職員研修の実施

職場におけるメンタルヘルス対策として、管理監督者向けのラインケア研修を実施しました。

実施日 令和6年6月14日(金)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 職場のメンタルヘルス対策～管理監督者の役割～

講 師 三重産業保健総合支援センター 安保 明子 氏

出席者 本会職員8名

職員の交通安全意識を高め、事故リスクを低減するため、全職員を対象に職員交通安全講習会を2回に分けて実施しました。

実施日 令和6年9月17日(火)、25日(水)

場 所 総合保健福祉センター及び社会福祉センター

内 容 職員交通安全講習会

講 師 亀山警察署 交通課長 田中 孝治 氏

出席者 本会職員41名

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第 20 回亀山市社会福祉大会

市と共催で、亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 令和 6 年 11 月 15 日（金）

場 所 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演（オンライン講演）

演題 「こどもまんなか社会」時代の子育て・保育

ー「はじめての 100 か月の育ちビジョン」を通してー

講師 玉川大学教育学部乳幼児発達学科

教授 大豆生田 啓友 氏

参加者 約 150 名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

（単位：名、回）

	6 年度	5 年度	増減
登録者数	35	38	△3
延べ運行回数	1,476	1,768	△292

<6 年度内訳>

（単位：円、回）

月	運行費 （年会費含む）	内 容			運行回数
		リハビリ・診察	透析	その他	
4	48,800	49	69	1	119
5	36,800	55	64	2	121
6	31,800	53	52	4	109
7	29,200	37	70	10	117
8	44,200	73	58	10	141
9	29,400	47	60	3	110
10	30,200	45	67	1	113
11	37,400	50	82	1	133
12	39,400	58	89	3	150
1	36,600	45	81	7	133
2	29,800	49	65	2	116
3	27,600	48	64	2	114
計	421,200	609	821	46	1,476

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
車椅子	261	225	36
歩行器	3	0	3

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

（単位：円）

	6 年度	5 年度	増減
収入金額	10,690	4,386	6,304

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

（単位：円）

実施期間	6 年度	5 年度	増減額
5 月	4,352,549	4,649,480	△296,931

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 実習生の受入

社会福祉士養成課程における相談援助実習について、岐阜協立大学の学生 1 名と日本福祉大学中央福祉専門学校 of 学生 1 名を受け入れました。

実習期間 令和 6 年 8 月 19 日（月）～29 日（木） 【8 日間】

令和 6 年 10 月 21 日（月）～11 月 1 日（金）

令和 6 年 11 月 18 日（月）～12 月 4 日（水）【23 日間】

9 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

市内に事業所がある社会福祉法人が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局支援を行いました。

①連絡会の運営

◆総会（1回）

第1回 令和6年4月26日（金）【オンライン開催】

協議事項（1）令和5年度 事業報告及び収支決算について

（2）令和6年度 事業計画及び収支予算について

参加団体 10法人、亀山市（オブザーバー）

◆役員会（2回）

第1回 令和6年8月30日（金）

協議事項（1）令和6年度の全体会について

参加団体 5法人

第2回 令和7年3月25日（火）

協議事項（1）令和6年度 決算見込みについて

（2）役員の選任について

（3）令和7年度 事業計画（案）及び予算（案）について

参加団体 5法人

◆全体会（研修会）（1回）

実施日 令和6年11月29日（金）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 亀山市福祉の発信力UP研修

講師 一般社団法人 FACE to FUKUSHI 池谷 徹 氏

参加団体 9法人、亀山市（オブザーバー）

◆重点支援地方交付金の追加支援に伴う緊急要望書の提出

社会福祉法人が国民・地域住民の生活を守り、地域のセーフティーネットの役割を果たしていくため、物価高騰対策として、社会福祉施設・事業所を対象に重点支援地方交付金による財政支援を検討していただきたく要望書を提出しました。

提出日 令和7年2月5日（水）

提出先 亀山市

10 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- (2) 亀山市老人クラブ連合会
- (3) 亀山保護司会
- (4) 亀山更生保護女性会
- (5) 亀山市遺族会

11 能登半島地震における被災地支援

令和 6 年 1 月 1 日に発生した、令和 6 年能登半島地震について、被災された方々を支援するため社協ブロック派遣による支援、募金箱の設置、義援金の受付を行いました。

①社協ブロック派遣

派遣先 社会福祉法人輪島市社会福祉協議会
 輪島市災害ボランティアセンター

派遣日・派遣職員

令和 6 年 4 月 3 日（水）～ 9 日（火）[7 日間]

豊田 夏美 （地域包括ケア推進係）

令和 6 年 4 月 11 日（木）～17 日（水）[7 日間]

松林 知也 （福祉サービス事業係）

令和 6 年 5 月 17 日（金）～23 日（木）[7 日間]

小林 英里奈（地域福祉係）

②職員報告会

社協ブロック派遣職員から派遣先での活動内容や被害状況や活動内容について情報共有することで、今後の活動につなげるよう報告会を開催しました。

実施日 令和 6 年 4 月 25 日（木）

場 所 総合保健福祉センター

報告者 本会職員 2 名

③募金箱の設置、災害義援金の受付

募金箱設置場所 総合保健福祉センター、市役所本庁舎、関支所、図書館 [計 4 か所]

義援金受付額 総額：3,917,327 円（令和 6 年度受付額：1,521,569 円 [24 件]）

2 地域福祉事業【地域福祉係】

1 第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心した暮らしが続けられるよう、住民と福祉関係の事業者・団体、行政が力を合わせて地域の福祉課題の解決に向け取り組み、地域共生社会の実現を図るため亀山市と一体的に策定した第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進に努めました。

①亀山市地域福祉推進委員会の開催

第1回 令和6年6月27日（木）【出席者】委員 14名

議 題

- ・第2次地域福祉計画（後期）の令和5年度実績について
- ・地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の令和5年度実績について

②地域福祉シンポジウムの開催

市と共催で、計画の基本理念である「ともに支え合い ともに暮らせる ふくしのまち」の実現に向け、地域福祉活動の在り方を考える機会となるようシンポジウムを開催しました。

実施日 令和6年7月5日（金）

場 所 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 第1部 基調講演

演 題：断らない相談支援から社会とのつながりをつくる参加支援

講 師：社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

事務局長 勝部 麗子 氏

第2部 トークセッション

テーマ：誰ひとり取り残さないまち、亀山をめざして

～亀山版「重層的支援体制整備事業」を通して考える～

ファシリテーター：

佛教大学社会福祉学部社会福祉学科

准教授 長友 薫輝 氏

パネリスト：

豊中市社会福祉協議会事務局長 勝部 麗子 氏

NPO 法人えん代表理事 小林 弘樹 氏

亀山市長 櫻井 義之 氏

亀山市教育委員会教育長 中原 博 氏

亀山市社会福祉協議会会長 榎谷 英一

参加者 約250名

2 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 <市受託事業>

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、ひきこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。

①相談実績

◆相談件数

（単位：件）

	個別支援					地域 支援	6 年度	5 年度	増減
	高齢	障がい	母子 （子育て）	その他 （困窮者）	複合的な課題 を抱えた世帯				
新規相談	7	8	3	26	36	9	89	65	24
延べ相談	39	353	19	370	710	64	1,555	1,400	155

◆相談経緯（新規）

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域 住民	家族	福祉 機関	医療 機関	行政 機関	教育 機関	その他	6 年度
相談件数	7	3	3	7	8	3	20	23	12	86

※重複あり

②プラン作成件数

（単位：件）

	計	新規	継続	終結
トータルケアプラン [多機関協働事業]	14	5	9	6
参加支援事業	3	1	2	2
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	6	5	1	0

③参加支援への取組み

（１）亀山市参加支援（就労体験等）事業

既存の福祉サービスなどでは対応できない対象者のニーズに対応するため、福祉サービス事業所や民間事業所などに就労体験等の場を提供いただき、地域の社会資源等を活用し、社会とのつながりづくりとして事業を実施しました。

支援対象者 4 名

体験日数 延べ 400 日

協力事業所 5 事業所（登録 6 事業所）

（２）オンライン居場所の施行運用

対面でのコミュニケーションが難しい方や、精神的な理由等により、外出や仕事に行くことができないなど、一人ひとりの状況やニーズに応じて、個人を特定されず気軽に参加できるオンライン居場所の施行運用を行いました。

打合せ、体験、内部プレゼンテーションの実施 25 回

④包括的支援体制の推進

- ・ 支援会議・相談支援包括化サポート会議 12 回（月 1 回開催）
- ・ 相談支援包括化サポート担当者的会議 26 回
- ・ 不登校児童生徒支援コーディネーター校区別連絡会 3 回
- ・ 多機関協働による包括的支援体制づくり（全庁展開）に向けた説明会
小・中学校、高等学校、三重法務少年支援センター、三重県総合教育センター

⑤地域への周知・関わり・会議への参加

- 地域での話し合いの場に参加 10 回
- 福祉委員会への参加 22 回
- 地域ケア会議（地域に係る専門職のネットワーク会議） 12 回

⑥先進地視察等

第 2 次亀山市地域福祉計画（後期）に位置付けている取組み、施策の実現に向け、先進的に取り組んでいる自治体及び社協への視察を市とともに実施しました。また、関係機関からの依頼を受け、亀山市の重層的支援体制整備事業の取組みについて実践発表を行いました。

（１）先進地視察

- 実施日 令和 7 年 2 月 3 日（月）
場 所 滋賀県野洲市
内 容 不登校生徒移行支援会議のデザインの仕方と具体的な会議の運用方法について

- 実施日 令和 7 年 3 月 17 日（月）
場 所 志摩市社会福祉協議会
内 容 オンライン居場所事業の運用について

（２）実践発表

実施日	発表先	内容
令和 6 年 5 月 21 日（火）	亀山ライオンズクラブ	生活にお困りの方の現状と支援について
令和 6 年 5 月 25 日（土）	三重県介護支援専門員協会鈴亀支部（総会記念講演会）	鈴亀両市で働く介護支援専門員を取り巻く行政等の取組みについて
令和 6 年 6 月 14 日（金）	亀山市小中学校生徒指導協議会	重層的支援体制整備事業について
令和 6 年 11 月 6 日（水）	三重県（令和 6 年度地域支援対応力向上研修会）	コミュニティソーシャルワークの活動から包括的支援体制の構築へ
令和 7 年 2 月 8 日（土）	亀山親亡き後を考える会つむぐ（親亡き後相談の取組みについて）	障がいのある方の親亡き後の相談とサポートについて

3 小地域ネットワーク活動事業

①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 332 名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 332 名 (5 年度 340 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位：名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業（主な事業）
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者訪問、みんなで楽しめる簡単マジック
2	井田川南	26	ふれあいグランドゴルフ大会、高齢者訪問
3	井田川北	42	高齢者への訪問（訪問活動年 2 回）
4	川崎	28	高齢者訪問、「ちょこっと集まりませんか」
5	野登	17	一人暮らし高齢者訪問配食、天空の森ウォーキング
6	白川	10	小学生との一人暮らし・二人暮らし訪問活動、そば作り交流
7	神辺	16	高齢者訪問、ふれあいキッズカフェ、ふれあい健康体操、三世代ふれあい交流
8	野村	25	高齢者訪問、いきいきサロン、ぴよぴよサロン、長寿を祝う会、夏休み子ども教室
9	城東	7	しろやまさろん、高齢者訪問
10	城西	10	高齢者訪問、お楽しみ会
11	城北	8	一人暮らし高齢者訪問、ふれあい交流会
12	御幸	8	高齢者訪問、感謝のつどい、文化祭
13	本町	5	いきいきサロン「地域の茶の間」、春のつどい、敬老会
14	北東	5	一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば、なかよしサロン、敬老会
15	東部	31	高齢者訪問、老人球技大会、敬老会
16	天神・和賀	10	一人暮らし高齢者訪問活動、ミニサロン、敬老会、三世代交流祭
17	南部	9	高齢者訪問、研修会（福祉委員向け）、ふれあい大運動会、いきいきふれあいサロン
18	関宿	31	高齢者見守り訪問活動、ゴキブリ団子作り、孫と遊ぼう会
19	関北部	7	高齢者訪問、もちつき大会
20	関南部	13	高齢者訪問、民生委員との情報交換会、健康づくり講座
21	加太	7	高齢者訪問、加太健康長寿を祝う会
22	坂下	10	訪問配食活動、敬老会、ふれあい交流会、節分祭
計		332	

②福祉委員研修会

(1) 福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、個人ワークを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を2回に分けて開催しました。

実施日 令和6年7月24日(水) ①13:30～15:00 ②19:00～20:30

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講義及び個人ワーク

テーマ 『福祉委員の役割を「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 81名

(2) 福祉委員研修会(障がい理解について)

障がいの概念や生活のしづらさ、関わり方を学び、全ての方が住み慣れた地域で互いに支え合い生活し続けられるよう共生社会の実現に向け研修会を開催しました。

実施日 令和6年10月25日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及びグループワーク

テーマ ①亀山市の障がい者福祉の現状及び障がい特性と関わりについて

②障がいがあるってどんなこと?～私にできることから考えよう～

講 師 亀山市健康福祉部地域福祉課障がい者支援グループ

中川 陽亮 氏、原 吉彦 氏

UDアドバイザー 中川 桃子 氏

参加者 41名

(3) 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

実施日 令和7年1月31日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及びグループワーク

講 師 地域包括ケア推進係

参加者 49名

③安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

地区福祉委員会を中心に地域内の 75 歳以上一人暮らし高齢者を対象に見守り訪問活動を行い、不織布マスクを配布しました。

実施地区 22 地区

実施期間 令和 6 年 12 月 10 日～令和 7 年 3 月末

(単位：件)

	6 年度	5 年度	増減
配布数	1,106	1,039	67

4 ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50 音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	6 年度	5 年度	増減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	12	13	△1
2	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	7	9	△2
3	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための活動	54	39	15
4	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	12	12	0
5	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	11	11	0
6	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	12	12	0
7	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	14	14	0
8	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	7	7	0
9	亀山親亡き後を考える会つむぐ	障がいのある子どもを持つ親の各種活動	14		14
10	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	7		7
11	亀山社中	地域福祉イベントの企画・運営	3	3	0
12	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	5	5	0
13	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	13	12	1
14	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	10	10	0
15	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	14	15	△1
16	亀山ボードゲーム会ひっと	ボードゲームを通じた地域交流、イベントの実施	3	3	0
17	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	5	4	1
18	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	17	18	△1
19	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	3	0
20	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	13	20	△7
21	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	9	9	0
22	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	119	111	8
23	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	14	14	0
24	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	26	56	△30
25	ジョイアス亀山	こども食堂、子ども見守り活動、フードバンク等	7		7
26	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	13	13	0
27	(特非) 亀っ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	26	27	△1

28	文化等 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	28	28	0
29	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会 を提供する	35	36	△1
30	みつくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開 催等	4	4	0
31	リンパ浮腫ケアと運動療法を 楽しむ会	リンパについての講演会等の実施	5	5	0
32	個人ボランティア	災害支援等	7	4	3
	エアプランツ	乳がんについての広報活動、乳房パット作り		4	△4
	オカリナアンサンブル・ラルゴ	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問		4	△4
	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等		6	△6
	民謡 万咲く会	福祉施設・イベント等での演奏活動		19	△19
合計			529	550	△21

②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事用保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件 数	66	60	7	0
人 数	2,320	5,139	4,140	0

③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートを行いました。

(単位：件)

	6 年度	5 年度	増減
相談件数	43	69	△26

④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施しました。

実施日 令和 7 年 3 月 3 日 (月)

場 所 社会福祉センター

内 容 令和 7 年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 19 団体 23 名

⑤ボランティア講座

ボランティア活動に関心を持ち、ボランティア活動を始めるきっかけ作りになるようボランティア養成講座を実施しました。

実施日 令和6年11月6日（水）、20日（水）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 「聴き方」が分かる傾聴講座～やさしいお話の聴き方って何だろう？～

講 師 NPO 法人みえ親子・人間関係を学ぶ会 小林 博子 氏

参加者 41 名

⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図る目的に実施しました。

実施日 令和7年3月3日（月）

場 所 社会福祉センター

内 容 ボランティア活動交流会及び活動発表

参加者 19 団体 23 名

⑦福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。（単位：団体、円）

	6 年度	5 年度	増減
団体数	4	6	△2
助成金額	305,000	382,000	△77,000

⑧ボランティアセンターの機能強化

亀山市が令和7年度から市民協働センターの機能強化に取り組むことに伴い、ボランティアセンターを市民協働センターに集約し、一体的な拠点として市民をはじめ、市民活動・ボランティア団体、企業、NPO 法人などの間にたって、さまざまな活動を支援することができる中間支援機能を有した相談支援機関を設置するため、市と協議等を行いました。

（１）先進地視察

実施日 令和6年12月6日（金）

場 所 滋賀県守山市、三重県いなべ市、東員町

内 容 各市民活動センターへの視察

参加者 本会職員1名、市職員2名

（２）亀山市市民活動・ボランティアセンター（ぷらっと）の設置及び運営に関する基本協定締結式

実施日 令和7年3月25日（火）

場 所 市役所本庁舎

5 災害ボランティアセンター事業

①災害ボランティアセンター

(1) 災害ボランティアセンター設置訓練

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。

実施日 令和6年11月2日(土)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 事前研修、設置・運営訓練

講 師 一般社団法人ピースボード災害ボランティアセンター 遠藤 聡 氏

参加者 56名

(社協職員19名、市職員等13名、災害ボランティア2名、ライオンズクラブ2名、地域包括支援センター8名、障害者総合相談支援センターあい3名、亀山高等学校生徒2名、他市町社協職員7名)

(2) 三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会

平時より三泗鈴亀ブロック内の市町社協の災害復興に係る取り組みを充実し、有事の際においても広域的な応援体制を円滑に行えるよう三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会が設置され、広域連携訓練を実施しました。また他市町社協が実施する災害ボランティアセンター設置運営訓練等に参加しました。

実施日 令和7年2月20日(木)

場 所 朝日町保健福祉センター

参加者 12名(うち本会職員2名)

○朝日町社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練研修会への参加

実施日 令和6年11月17日(日)

場 所 朝日町保健福祉センターさわやか村

参加者 本会職員2名

○鈴鹿市社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練研修会への参加

実施日 令和6年12月22日(日)

場 所 ホンダアクティブランド

参加者 本会職員2名

②災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風などに伴う警報発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

③亀山市総合防災訓練への参加

実施日 令和6年10月19日（土）

場 所 西野公園及び体育館

内 容 災害ボランティアセンターの役割や取り組みの周知・啓発

④災害時外国人住民支援事業への参加

三重県が実施した災害時における外国人被災者への情報伝達や日頃からの防災啓発に関わる外国人キーパーソンの育成を目的とした災害時外国人住民支援事業に参加し、亀山市災害ボランティアセンターの役割と機能について講義を行いました。

実施日 令和6年7月28日（日）[第1回研修]

令和6年8月24日（土）[第2回研修]

令和7年2月20日（木）[意見交換会]

場 所 総合保健福祉センター

発表者 地域福祉係 小林英里奈

6 福祉教育推進事業

①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、各学校の総合学習での福祉授業をはじめ、ボランティア紹介などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育んでいけるよう助成事業を行いました。

・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14 校、18 園 モデル校@100,000×2 校、1 園)

・令和 6 年度モデル指定校、園：川崎愛児園、昼生小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	12	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太、第三愛護、川崎愛児（モデル園）、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	2	アスレ、亀山愛児
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎、神辺、昼生（モデル校）、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山（モデル校）、徳風

(1) モデル指定校（園）との関わり

モデル校（園）を指定し、学校（園）と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校（園）名	内 容
川崎愛児園	・中高生のインターンシップ受入れを通しての交流 ・夕涼み会や運動会において、地域の方や未就園児・卒園児等との地域交流
昼生小学校	・地域の民生委員・児童委員、主任児童委員から紙芝居を用いた普段の活動や役割についてのお話（6年生） ・地区委員、福祉委員、民生委員・児童委員とともにひとり暮らし高齢者を訪問し、手紙や手作りグッズをプレゼント（6年生） ・認知症キッズサポーター養成講座（6年生） ・障がいがある方から工夫した生活や、人とのつながり等を聴いたり、視覚障がいのある方の誘導、車いす体験等を通して、自分たちにできることを考え、地域の文化祭・敬老会で発表（3・4年生） ・友愛活動として、校区内の各地区に出向き、歌のプレゼント（全児童）
亀山高等学校	・高齢者施設を訪問し、自分たちで考えたレクリエーションで交流、手作りカレンダーをプレゼント（1年生） ・75歳以上ひとり暮らし高齢者に手作りのティッシュカバーをプレゼント（2年生） ・近隣小学校の4年生に授業で福祉の魅力についての説明 ・紙芝居を制作し、近隣保育園にて読み聞かせ

(2) 学校からの福祉教育依頼

学校からの福祉教育依頼を受け、学校と社協が共にプログラムを作成し、職員が講師として授業を行いました。

実施日	学校名	内 容
6月5日(水)	亀山西小学校(6年生)	当事者(UDアドバイザー)との出会い、交流、車いす体験
9月17日(火)	亀山東小学校(4年生)	車いす体験、高齢者・障がい者疑似体験
10月31日(木)	川崎小学校(4年生)	視覚障がい者(UDアドバイザー)の暮らしについて(出会い学習)
11月21日(木)	野登小学校(3・4年生)	視覚障がい者(UDアドバイザー)の暮らしについて(出会い学習)

②夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの8月19日(月)から23日(金)[5日間]、市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者、園児の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催しました。

(単位：名 ※延べ人数)

亀中体験施設名	参加者	中部中体験施設	参加者	関中体験施設	参加者
亀寿苑	7	宝寿の里	1	GHはなの家	5
花しょうぶ苑	10	亀寿苑川崎デイアップセンター	2	デイサービスはなの家	1
第三愛護園	2	愛の家グループホーム亀山	2	亀寿苑関デイアップセンター	9
亀山愛児園	6	うさぎ亀山介護施設	9	華旺寿	2
		川崎愛児園	14	えん	3
		野登ルビニ園	7		
		なのはな保育園	20		
計	25	計	55	計	20
				合 計	100

③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生が街頭募金活動を実施しました。

実施日	学校名	場 所
11 月 13 日（水）	亀山高等学校（10 名）	オークワ亀山店 マックスバリュース亀山店
11 月 17 日（日）	亀山高等学校（10 名）	食の祭典
11 月 22 日（金）	関中学校（12 名）	ベーシック関店
12 月 4 日（水）	中部中学校（28 名）	マックスバリュースみずほ台店 ベーシック亀山店
12 月 6 日（金）	徳風高等学校（6 名）	スーパーセンターオークワサウス亀山店
12 月 16 日（月）	亀山中学校（8 名）	亀山ショッピングセンターエコー
1 月 25 日（土）	亀山高等学校（9 名）	亀山大市

7 サロン活動推進事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

（単位：箇所、円、名）

		6 年度	5 年度	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	83	79	4	2,949,000	24,588
	新規	5	6	△1	180,000	
	計	88	85	3	3,129,000	
子育て	既存	4	4	0	144,000	2,443
	新規	2	0	2	72,000	
	計	6	4	2	216,000	
コミュニティ	既存	14	12	2	468,000	4,464
	新規	5	3	2	162,000	
	計	19	15	4	630,000	
合 計		113	104	9	3,975,000	31,495

②子育てサロン・コミュニティサロン合同交流会

子育てサロン・コミュニティサロンを実施している団体間において、交流を深めることでサロン活動の充実を図るとともに、課題や取り組み状況について意見交換をすることで、サロン活動の新しい展開への手掛かりときっかけ作りを目的に開催しました。

実施日 令和7年3月12日（水）

場 所 社会福祉センター

内 容 活動発表、交流会、令和7年度サロン活動推進助成事業説明

発表者 和田町サロン会 渡辺 利裕 氏

参加者 36名（17団体）

8 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第78号 令和6年 7月1日「ちょこっとボランティア（ちょこボラ）の紹介」等

第79号 令和6年 10月1日「参加支援事業、生活困窮者自立支援事業について」等

第80号 令和7年 1月1日「赤い羽根共同募金の紹介」等

第81号 令和7年 4月1日「特集：福祉教育」等

②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	6年度	5年度	増減
お知らせ・新着情報	33	37	△4
フェイスブック	139	162	△23

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

③FM ラジオの情報発信

毎月1回鈴鹿 VoiceFM（78.3Mhz）にて「ラジオかめやま社協だよりに」に職員が出演し、本会の活動紹介をはじめ、福祉事業についての説明や相談窓口の案内などを行いました。

放送日 毎月第2火曜日 14：20 頃から

出演回数 12回（令和6年4月～令和7年3月）

9 各種福祉事業

①高齢者支援

(1) 団体助成

◆亀山市老人クラブ連合会 (共同募金配分金) 100,000 円

(2) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆措置施設入所者(無年金)、契約施設入所者(無年金) 2 件 6,000 円

②障がい児(者)支援

(1) 団体助成

◆亀山市特別支援教育振興会 (共同募金配分金) 130,000 円

◆亀山親亡き後を考える会つむぐ (共同募金配分金) 265,000 円

(2) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆特別児童扶養手当受給者 106 件 318,000 円

◆障害児福祉手当受給者 46 件 138,000 円

◆特別障害者手当受給者 36 件 108,000 円

◆福祉手当受給者 1 件 3,000 円

合計 189 件 567,000 円

(3) 三家連精神保健福祉研修会(鈴鹿大会)実行委員会への参画

◆第1回実行委員会

実施日 令和7年3月27日(木)

場 所 鈴鹿保健所

参加者 本会職員2名

③子ども・子育て支援

(1) 団体助成

◆亀山市子ども会育成者連絡協議会 (共同募金配分金) 60,000 円

◆特定非営利活動法人亀っ子サポート (共同募金配分金) 100,000 円

◆不登校の親の会「でんでん」 (共同募金配分金) 200,000 円

(2) 生活保護世帯入学祝金、修学旅行費補助<歳末たすけあい配分金事業>

◆生活保護世帯入学祝金補助 2 名 10,000 円

◆生活保護家庭小中学校修学旅行補助 2 名 10,000 円

(3) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆準援護家庭 332 件 996,000 円

◆施設入所児童 3 件 9,000 円

④低所得者支援

(1) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

◆生活保護世帯 178 件 559,000 円

10 共同募金会との連絡及び協力

①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	6 年度	達成率	5 年度	増減額	前年比
10 月～12 月	5,442,000	4,265,026	78.4	4,577,546	△312,520	93.1

②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	6 年度	達成率	5 年度	増減額	前年比
10 月～12 月	2,400,000	2,414,742	100.6	2,299,564	115,178	105.0

③街頭募金活動

運動開始日に市内駅前街頭募金及び啓発活動を行いました。

実施日 令和 6 年 10 月 1 日 (火)

場 所 JR 亀山駅、井田川駅

④亀山市共同募金委員会運営委員会及び審査委員会の開催

第 1 回 令和 6 年 4 月 1 日 (月) 【書面決議】

・会長及び副会長の選任について

第 2 回 令和 6 年 6 月 12 日 (水)

[運営委員会] 【出席者】運営委員 8 名

・令和 5 年度 事業報告及び収支決算について

[審査委員会] 【出席者】審査委員 8 名

・令和 6 年度 (令和 7 年度充当) 一般募金配分申請について

・令和 6 年度歳末たすけあい募金配分申請について

第 3 回 令和 7 年 3 月 21 日 (金) 【出席者】運営委員 7 名

・令和 7 年度 事業計画及び収支予算について

3 生活支援事業【生活支援係】

1 総合相談事業 <市補助事業>

①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援会議を通じて適切な相談援助を行いました。

②心配ごと相談（元公証人による相談）

市の法律相談と連携しながら、相続、遺言、金銭貸借、離婚等に関することに対して元公証人による適切な助言、指導を行う相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員・児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	6年度	5年度	増減
開設日数	24	22	2
相談件数	94	88	6

③成年後見等の法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	6年度	5年度	増減
開催日数	12	12	0
相談件数	43	38	5

④心配ごと相談員研修会（民生委員児童委員協議会連合会合同研修会）

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡・連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実及び民生委員・児童委員の資質向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

実施日 令和6年11月28日（木）

場 所 亀山市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 第一部「公証業務のあらましとその周辺の制度の動きについて」

講師 元公証人 山中 優一 氏

第二部「相続登記の義務化に関する話」

講師 津地方法務局 不動産登記部門 登記官 千葉 美希 氏

参加者 相談員8名（うち5名民生委員・児童委員と兼任）、民生委員・児童委員80名

⑤心配ごと相談所打合せ会議

相談員同士の意見交換や実績報告等を行うため、打合せ会議を開催しました。

	第 1 回	第 2 回
実施日	令和 6 年 6 月 10 日（月）	令和 6 年 12 月 18 日（水）
場 所	総合保健福祉センター	社会福祉センター
内 容	事業報告、意見交換等	事業報告、意見交換等
参加者	7 名	8 名

2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

◆支援回数

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
認知症高齢者	101	111	△10
知的障がい者	397	396	1
精神障がい者	580	584	△4
その他	53	89	△36
計	1,131	1,180	△49

◆契約者数

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
認知症高齢者	4	5	△1
知的障がい者	16	17	△1
精神障がい者	16	19	△3
その他	2	2	0
計	38	43	△5

◆生活支援員関係

（単位：名、回）

	6 年度	5 年度	増減
生活支援員	13	14	△1
派遣回数	956	929	27

◆生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和7年3月7日（金）

場 所 総合保健福祉センター

講 演 「悪質な訪問販売や詐欺に遭わないためのポイントや事例紹介・安心安全に向けた警察の事例紹介」

講 師 亀山警察署 生活安全課 生活安全係長 警部補 石本 茂紀 氏

参加者 13 名

◇日常生活自立支援事業について

本年度は利用者の死亡と他市への転居、成年後見制度への移行で解約が 6 件ありましたが、新規契約が 1 件あり、3 月末の利用者数は 38 名となりました。6 件の解約中 2 件が成年後見制度への移行であり、利用者の判断能力が低下してきたことで成年後見制度への移行を検討し、利用者や関係機関と話し合いを重ね申立手続き等を支援しました。

権利擁護事業を検討している相談者には、現状や課題をよく聞き取り他制度の利用も視野に入れながら、権利擁護支援を行っています。

3 成年後見サポート事業 <市委託事業>

成年後見制度の利用促進に関する法律と、亀山市地域福祉計画（後期）に基づき中核機関の機能を有する、成年後見サポート事業を実施しました。相談支援員を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談業務、利用促進のための申立支援等を行うとともに、法人後見も新たに1件受任しました。

①相談実績

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
新規相談件数	39	35	4
延べ相談件数	177	143	34

②成年後見セミナーの開催（市・地域包括支援センター（基幹型・第1・第2）共催）

成年後見制度の概要や取組状況を周知するため、一般市民や関係機関を対象にしたセミナーを開催しました。講師の方から成年後見人の権限や義務等についての講演に続いて、亀山市の取り組みや実際の事例を交えて制度説明を行いました。

実施日 令和6年10月3日（木）

場 所 総合保健福祉センター

演 題 「成年後見制度ってなんだろう？」

講 師 亀山市法福連携ネットワーク協議会会長 西村 和晃 氏

登壇者 亀山第2地域包括支援センターもくれん 坂部 知香 氏

亀山市健康福祉部地域福祉課障がい者支援グループ 原 吉彦 氏

亀山市社会福祉協議会 生活支援係 小林 香奈

参加者 41 名

③金融機関及び消費生活センターとの意見交換

令和5年度に引き続き、市と市内全ての金融機関を訪問し、各支店での対応状況や連携のあり方について意見交換することにより、成年後見制度における金融分野との連携方策の検討を進めました。

また、相談窓口の実施と現状を説明し、お互いが抱える課題について意見交換を行うため、鈴鹿亀山消費生活センターと三重県消費生活センターに訪問しました。新たに「情報共有連絡票」の作成・提案を行い、連絡票を用いた支援が必要な方の情報提供の仕組みづくりに繋がりました。

金融機関訪問先

百五銀行（亀山支店、関支店、東御幸出張所）

三十三銀行（亀山支店、みずほ台支店）

東海労働金庫（亀山支店）

北伊勢上野信用金庫（亀山支店）

鈴鹿農業協同組合（亀山支店、川崎支店、井田川支店、亀山神辺支店、関支店、野登支店、本店）

亀山郵便局、昼生郵便局

訪問日 令和6年11月22日（金）～令和7年1月30日（木）

訪問日 鈴鹿亀山消費生活センター 令和6年11月19日(火)
 // 令和7年2月13日(木)
 三重県消費生活センター 令和7年3月6日(木)

④法福連携ネットワーク協議会の開催

司法と福祉分野との連携方法の検討や情報交換などを行うため、法福連携ネットワーク協議会を開催しました。本年度から東海税理士会にも参画していただき、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会、医師会等さまざまな分野から選出された委員に、事業の概要等についての説明を行いました。

実施日 令和6年8月8日(木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 事業報告、成年後見サポート(受任調整)会議の運営状況など

出席者 委員13名、家庭裁判所1名(オブザーバー)

⑤成年後見サポート(受任調整)会議の開催

制度利用の申立支援を行う案件等について、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会との情報共有や、申立人及び受任候補機関の調整などを行いました。

	第1回	第2回
実施日	令和6年7月24日(水)	令和6年12月4日(水)
場 所	総合保健福祉センター	総合保健福祉センター
受任調整件数	1件	3件
出席者	委員4名	委員4名

⑥チーム会議の開催

申立支援に関わった案件等について、受任後に後見活動が円滑に行われるよう、関係機関との情報共有や役割分担を行いました。

	実施日	参加者
1	令和6年4月12日(金)	後見人等、施設職員
2	令和6年10月31日(木)	被後見人等、後見人等、介護支援専門員
3	令和7年3月17日(月)	被後見人等、家族、後見人等、相談支援専門員 生活保護担当者、市高齢者支援グループ職員

⑦エンディングノート（じぶんノート）の作成

自分自身に何かあったときに備えて、家族等が様々な判断や手続きを進める際に、必要な情報を残すためのものであるエンディングノートを市と合同で作成し、市民等に周知、配布しました。

※配布窓口：総合保健福祉センター（社会福祉協議会、市高齢者支援グループ）、

医療センター、第1、第2地域包括支援センター

[亀山市及び社会福祉協議会のホームページからダウンロードできます。]

⑧法人後見の受任

認知症、知的障がい、精神障がい等により意思決定が困難な方の判断能力を補うために、本会が後見人等となり、被後見人等の財産管理、身上保護を行いました。

◆法人後見実績

（単位：件）

	6年度	5年度	増減
新規受任件数	1	0	1
受任実件数	2	1	1
延べ支援回数	117	87	30

4 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業と住居確保給付金（必須事業）及び家計改善支援事業（任意事業）、さらには本年度から就労準備支援事業（任意事業）を実施しました。また、「福祉なんでも相談窓口」として生活困窮者に限らず複合的な福祉課題を抱えた方からの相談に応じました。専門員を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

◆相談実績

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
新規相談件数	116	124	△8
延べ相談件数	913	908	5
プラン作成件数	11	17	△6
家計改善支援利用件数	4	10	△6
就労準備支援利用件数	3		3
支援終結	11	6	5
住居確保給付金	8	4	4

◆年代別構成

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
10～20 代	14	20	△6
30～40 代	38	45	△7
50～60 代	29	32	△3
70 代～	27	18	9
不明	8	9	△1

◆区分（重複あり）

（単位：名）

		6 年度	5 年度	増減
属性	高齢者	32	25	7
	母子家庭	13	10	3
	障がい者	8	16	△8
	外国籍	17	20	△3
	その他（一般）	52	70	△18
状態	減収・失業者等	53	79	△26
	債務超過	24	1	23
	ケガ・疾病等	36	11	25
	ひきこもり	3	3	0
	不明	6	7	△1

◆支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い連携を図りました。

開催回数：年間 12 回

◇生活困窮者自立支援事業について

令和 6 年度の新規相談件数は、新型コロナウイルス感染症の流行前とほぼ同数程度となりました。新型コロナウイルス感染症の流行以後、相談窓口として広く市民に認知されたことにより、食糧支援や貸付の相談で再来所される方も多くみえます。関係機関及び社協内でも情報共有・連携を行っていることから、スムーズに次の支援につなげることができています。

また、新たに受託した就労準備支援事業についても、民間事業所の協力を得ながら亀山市参加支援（就労体験等）事業と連動して実施することができました。

5 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 <県社協受託事業>

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減収した方を対象とした新型コロナ特例貸付については、失業や病気等で返済が困難な世帯には据置期間が延長される償還猶予の手続き支援を行いました。

さらには、フォローアップ支援事業として、未応答者や滞納者等に対し、三重県社会福祉協議会とともに、対象者を訪問し、現在の生活状況や困りごと等の聞き取りを行い、償還猶予や償還月額の変更手続き等を促しました。

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
相談件数	59	60	△1
貸付件数	11	11	0
滞納者等への訪問	39	0	39

◆貸付残高件数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
総合支援資金	9	12	△3
緊急小口資金	22	22	0
臨時特例つなぎ資金	1	1	0
福祉資金（その他）	26	20	6
新型コロナ特例緊急小口資金	166	281	△115
新型コロナ特例総合支援資金	198	208	△10
新型コロナ特例総合支援資金延長	48	51	△3
新型コロナ特例再貸付	82	104	△22
合計	552	699	△147

（償還免除：通常貸付 11 件、新型コロナ特例貸付 47 件）

②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしましたが、令和 6 年度は貸付及び償還実績はありませんでした。

◆貸付残高件数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：件、円）

	6 年度	5 年度	増減
貸付件数	1	1	0
貸付残高	12,000	12,000	0

6 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

①生活困窮者支援緊急食糧提供事業・緊急時物品等支援事業（みえ福祉の「わ」創造事業）

NPO セカンドハーベスト名古屋を通じて 3 週間分の食糧を 3 回まで提供しています。可能な限り、食物アレルギーへの対応もしています。

また就職活動の準備のために必要なものや緊急性の高い必要な日用品を提供しています。

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業	73	89	△16
緊急時物品等支援事業	8	13	△5

②亀山市社協緊急食糧等提供事業及び災害時等備蓄品の提供

生活にお困りの方に対し生活再建を行えるよう、食料品や日用品を提供するとともに、本会が備蓄している災害時等備蓄品（保存用缶入りソフトパン、ビスケット、飲料水）を緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった方に提供しました。

（単位：件）

	6 年度	5 年度	増減
亀山市社協緊急食糧等の提供	44	58	△14
亀山市社協災害時等備蓄品の提供	2	4	△2

③三重県食品提供システムポータルみえ〜との連携（県廃棄物・リサイクル課事業）

企業等の団体から無償で提供される食品について、提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上で行い、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

提供回数 1 回

提供食品 おかずレトルトパック

④生活協同組合コープみえとの連携（生活困窮者対策支援に関する協定）

生活協同組合コープみえとの生活困窮者対策支援に関する協定により、コープみえが取り扱う食品や日用雑貨（キャンセル商品や在庫商品等）を無償で提供いただき、支援に活用しています。またコープみえが主催するイベント（つながりユース）にブース出展し、社協が行う各相談事業のチラシの配布や災害ボランティアセンターのパネル展示等を行いました。

提供回数 7 回

提供物品 米、パン、カップ麺、調味料、飲料、洗剤、ゴミ袋、ティッシュペーパー等
[つながりユースへの参加]

開催日 令和 7 年 3 月 7 日(金)

会 場 鈴鹿市社会福祉センター

内 容 福祉なんでも相談、各相談事業についてのチラシ配布、災害ボランティアセンターのパネル展示、非常用トイレの配布と使用方法の説明

⑤公益社団法人日本非常食推進機構との連携（災害対策用備蓄物資の有効活用に関する覚書）

公益社団法人日本非常食推進機構と災害対策用備蓄物資の有効活用に関する覚書により、企業等から無償で寄付される災害対策用備蓄物資（保存食）を提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上で行い、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

提供回数 5 回

提供保存食 アルファ米、パン、クッキー、ビスケット、水等

7 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

会議等への参加	三重県居住支援連絡会作業部会	1回
	居住支援フォーラム	1回
	住宅相談会	1回

4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

1 基幹型地域包括支援センター事業 <鈴鹿亀山地区広域連合委託事業>

高齢者の方々が安心して暮らしていくことができるよう総合的な相談支援を行いました。また、地域包括支援センターの後方支援(バックアップ)及び補完的機能の役割を担いました。

- ・ 亀山市基幹型地域包括支援センターきずな（亀山市社会福祉協議会）
- ・ 亀山第1地域包括支援センターぼたん（安全福祉会）
- ・ 亀山第2地域包括支援センターもくれん（安全福祉会）

①総合相談支援

高齢者の生活や認知症などの疾患、介護保険制度、施設入所などに関する相談や悩みのほか、福祉や医療、生きがいなどの相談に応じました。

◆相談件数

(単位：件)

	6年度	5年度	増減
延べ対応件数	330	378	△48

②地域包括支援センター運營業務の平準化と後方支援

(1) 地域包括支援センター専門職別ワーキング

圏域において対応にばらつきがないよう地域包括支援センターとの情報共有や話し合いの場の設定を行いました。

◆実施状況

(単位：回)

	回数	議 題
センター長会議	12	亀山市・広域連合・各センター間の情報共有
保健師ワーキング	12	地域での介護予防教室、精神疾患があり支援している事例の情報共有・意見交換
主任介護支援専門員ワーキング	12	バイタルリンクを活用した介護支援専門員への情報提供、介護支援専門員向け研修会の開催
社会福祉士ワーキング	12	“もしものとき”のためのチェックリスト作成、高齢者虐待防止研修会についての検討、鈴鹿亀山消費生活センターとの情報共有

(2) 困難事例等に対する地域包括支援センターの相談支援

地域包括支援センターの支援として、困難事例等に対し地域包括支援センターと協働し、同行訪問やケース検討を行いました。

◆相談対応件数

(単位：件)

	6年度	5年度	増減
延べ相談対応件数	51	25	26

(3) 高齢者虐待についての周知・啓発及び対応

令和6年度より全ての介護サービス事業所を対象に、高齢者虐待防止に係る措置を講ずることが義務化され各事業所で取り組まれている中、改めて高齢者虐待防止法の基本を理解し、具体的な事例の検討を通じて意識の醸成を図ることを目的に、市内介護サービス事業所を対象とした研修会を開催しました。また、相談、通報を受けた案件について地域包括支援センターと連携し、現地状況確認、相談支援を行いました。あわせて市主催のコアメンバー会議等に参加し、今後の対応と虐待認定について協議を行いました。

○令和6年度高齢者虐待防止研修会（オンライン開催）

実施日 令和7年1月15日（水）

講師 一般社団法人三重県社会福祉士会 社会福祉士 市川 光智 氏

内容 高齢者虐待防止法の基本についての講義および事例検討

参加者 <当日参加> 52事業所 61名（地域包括支援センター職員含む）

<アーカイブ配信> 43事業所 43名

◆虐待対応件数（重複あり）

（単位：件）

	6年度	5年度	増減
身体的虐待	6	7	△1
経済的虐待	2	0	2
心理的虐待	0	1	△1
性的虐待	0	0	0
介護放棄	0	2	△2
計（実人数）	8（8）※	10（6）※	△2

※うち、実人数8人中7人は虐待の事実の判断「判断できず」

◆虐待相談対応件数

（単位：件）

	6年度	5年度	増減
延べ対応件数	69	76	△7

(4) 成年後見セミナーの開催（市・地域包括支援センター（第1・第2）共催）

成年後見制度の概要や取組状況を周知するため、一般市民や関係機関を対象にしたセミナーを開催しました。講師の方から成年後見人の権限や義務等についての講演に続いて、亀山市の取り組みや実際の事例を交えて制度説明を行いました。

【再掲：詳細についてはP33】

(5) エンディングノート（じぶんノート）の作成

自分自身に何かあったときに備えて、家族等が様々な判断や手続きを進める際に、必要な情報を残すためのものであるエンディングノートを市と合同で作成し、市民等に周知、配布しました。

【再掲：詳細についてはP35】

③多職種によるネットワークの構築と地域課題の把握及び地域ケア会議開催支援

(1) 多職種によるネットワークの構築と地域課題の把握

専門職同士のネットワーク強化、地域における共通の課題の解決につなげられるように次の会議を開催しました。

○地域に関係する専門職のネットワーク会議の開催

開催目的：役割の共有とネットワーク構築

開催回数：12回

参加者：第1地域包括支援センター、第2地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、社協生活支援係、コミュニティソーシャルワーカー、市地域福祉課、市地域医療課

○亀山主任介護支援専門員連絡会の開催

開催目的：主任介護支援専門員の知識と経験を活かした地域の介護支援専門員のレベルの底上げ、実力を発揮できる場作りと実践

開催回数：3回

参加者：地域包括支援センター及び主に市内の利用者を担当する居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員とそれに準ずる者

(2) 地域ケア会議開催支援及び会議への出席

地域包括支援センターが地域ケア会議を円滑に開催できるよう、関係機関の調整及び専門的な視点で話し合えるよう支援しました。

◆地域ケア個別会議 実施状況

テーマ	開催日	担当包括	参加者
猫の多頭飼いをしており、劣悪な生活環境の世帯の支援について	7月8日	第1包括	自治会長、鈴鹿保健所、市環境課、CSW
同居の長男との関係性が悪く、家族による生活の支援が得られない高齢者	8月22日	第1包括	自治会長、鈴鹿保健所、市環境課、CSW
猫の多頭飼育と大量のゴミの中で生活している高齢者の今後の支援について	2月14日	第2包括	自治会長、民生委員・児童委員、地域まちづくり協議会長、介護支援専門員

◆地域ケア圏域会議 実施状況

テーマ	開催日	担当包括	参加者
下庄地区高齢者見守り隊と協力し、フレイル予備軍等の早期発見、早期介入するための具体的な方法について	1月24日	第1包括	下庄地区高齢者見守り隊
城北地区における高齢者の現状について情報共有及び地域課題の把握	2月25日	第2包括	民生委員・児童委員、地域まちづくり協議会長、ふれあい・いきいきサロン代表者

(3) 地域の仕組みづくり及び実践

○能褒野町自治会における高齢者見守りネットワーク「のぼのあんしんネット」

亀山第1地域包括支援センターと協力し、能褒野町自治会の役員会・班長会にて訓練の趣旨説明を行い、11月10日（日）市内一斉清掃時に実践訓練を実施しました。

※のぼのあんしんネット：令和4年度に構築した自治会に從來からある通信手段LINEを活用した高齢者行方不明者等の早期発見のためのしくみ

④介護予防の推進

地域での介護予防活動推進のため、保健師ワーキングで内容を検討し地域のサロンにおいてフレイル予防についての介護予防教室を開催しました。

◆ますます健康教室

対象	開催日	参加人数	内 容
サロンなかよし会 (栄町)	3月7日	23人	フレイル予防の3本柱 オーラルフレイル予防について

⑤自立支援型地域ケア会議の開催 ＜鈴鹿亀山地区広域連合委託事業＞

事業対象者や要支援者等の軽度者について、理学療法士・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・生活支援コーディネーター等の多職種の視点で自立支援に資するケアマネジメントの検討を行いました。

◆実施状況

開催日	テーマ	担当包括
4月18日	活動量が少なくフレイルに陥る危険性の高い方が身体機能を維持した生活を送るための支援	第1包括
	歩行が不安定で、体重が戻らないことを気にされている方の体力づくりと栄養支援について	第2包括
6月20日	めまいや倦怠感とうまく付き合いながら、活動意欲を高めるアプローチ方法	第1包括
	意欲が高く、外出先で転倒することが多いが、住み慣れたところで安全に過ごすための支援	第2包括
8月15日	大動脈解離や圧迫骨折の再発に不安がある方の生活へのアプローチ方法	第1包括
	サービスを増やさず身体機能を維持した生活を送るための支援	第2包括
10月17日	体調に波があり、めまいの不安がありながら、自宅での役割を継続していくための支援	第1包括
	視力障がいがあり、活動量が低下している方への意欲向上に向けたアプローチ方法	第2包括
12月19日	腰痛や転倒に対する不安を抱えており、活動量が少ない方への支援	第1包括
	介護サービス導入に抵抗がある方の介護者の負担を軽減し、在宅生活を継続するための支援	第2包括
2月20日	足や腰の痛みと付き合いながら、一人暮らしを続けていくための支援	第1包括
	身体的な疾患を抱えながらも自発的に体調管理に取り組んでもらうための支援	第2包括

⑥その他

(1) 鈴鹿医療科学大学看護学生実習受入

受入日 令和6年12月10日(火)、11日(水)

受入人数 3名

内 容 地域包括支援センターの役割や活動について

2 地域支援事業 <市委託事業>

①第1層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう本会に配置している第1層生活支援コーディネーターと社会福祉法人安全福祉会に配置された第2層生活支援コーディネーターとともに、生活支援・介護予防のしくみづくりを進めました。

- ・第1層生活支援コーディネーター〔市全域〕（亀山市社会福祉協議会）
- ・第2層生活支援コーディネーター〔2圏域〕（安全福祉会）

（1）地域の現状把握

市内にある各まちづくり協議会（22地区）を単位として人口・世帯・高齢化率のデータをはじめ、地域の福祉・医療・教育等の社会資源やインフォーマルな活動も含め「見える化」を図るため、昨年度に続き市まちづくり協働課と協働で令和6年度版地域福祉カルテを作成しました。社会資源一覧等の二次元バーコードを活用し、幅広い世代に活用してもらえよう工夫しました。

また、高齢者の生活支援に活用できる社会資源を整理し、ニーズとのマッチングに活用できるよう「高齢者のための社会資源のしおり」を基幹型地域包括支援センターと協働し、改訂しました。

関係機関等に情報共有を行うため、「地域福祉カルテ」と「高齢者のための社会資源のしおり」を本会ホームページに掲載するとともに、下記関係機関へ配布しました。

【配布先】

（単位：部）

関係機関	部数	関係機関	部数
地域まちづくり協議会（福祉委員会）	22	市健康福祉部地域福祉課	1
民生委員・児童委員、主任児童委員	99	亀山医師会	1
市内地域包括支援センター	2	亀山歯科医師会	1
市内居宅介護支援事業所	19	鈴鹿亀山薬剤師会	1
市内小規模多機能型居宅介護	2		

(2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

全てのふれあい・いきいきサロンを訪問して活動状況を把握し、その内容について地域に係る専門職のネットワーク会議及びふれあい・いきいきサロン交流会で共有しました。また、介護支援専門員等が社会資源として活用できるように多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）に掲載するとともに、サロンを利用したいというニーズと団体との調整を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン助成事業＜介護予防普及啓発事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成しました。

(単位：箇所、円、名)

		6 年度	5 年度	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	83	79	4	2,949,000	24,588
	新規	5	6	△1	180,000	
	計	88	85	3	3,129,000	

○ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換など交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和 7 年 3 月 12 日 (水) 【午前の部】 10 時 00 分～11 時 30 分

【午後の部】 14 時 00 分～15 時 30 分

※人数を半分に分けて午前・午後の 2 部制で開催

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ①サロン団体訪問報告

②情報交換

③令和 7 年度事業説明等事務連絡

参加者 63 名 (午前の部：35 名 午後の部：28 名)

(3) 住民同士の支え合い活動（ちょこボラ）の推進

○地域まちづくり協議会への支援

高齢化が進む中、地域で住民同士がゴミ出しや庭の草取りなどちょっとした助け合い活動が行えるよう「ちょこボラ」を推進しました。地域まちづくり協議会（22 地区）のうち、現在 5 地区（昼生、井田川北、城北、坂下、川崎）がちょこボラ活動に取り組んでおり、会議の場に参加するなど意見交換や情報共有に努めました。

また、市環境課・地域福祉課と市環境センターへの一般廃棄物の持ち込み方法について意見交換を行い、ちょこボラ活動がスムーズに行えるよう支援しました。

新たに立ち上げを検討している地域まちづくり協議会にちょこボラの概要説明や他地区の実施内容についての資料の提供等の支援を行いました。

◆支援者会議等への参加

（単位：回）

活動先	回数	活動内容
井田川北ささえ愛たい （井田川北まちづくり協議会）	2	令和 6 年度定期総会、県社協取材への同席
城北サポート隊 （城北地区まちづくり協議会）	3	市環境センターへの一般廃棄物の持ち込み方法についての調整
川崎サポート会 （川崎地区まちづくり協議会）	2	設立総会への出席、活動状況のヒアリング

◆立ち上げ等に関する支援

（単位：回）

活動先	回数	活動内容
川崎地区まちづくり協議会	3	まち協会長・役員への概要説明、規約や手引きの作成等の調整、市補助金についての説明（市担当者同行）
野登地区まちづくり協議会	1	移送サービスの実施に向けた調整（市担当者同行）
野村地区まちづくり協議会	1	ちょこボラ実施に向けたアンケート結果のヒアリング

○ちょこボラ養成講座

地域での助け合いや支え合い活動について理解を深め、日常生活でのちょっとした困りごとに対応する「ちょこっと・ボランティア（ちょこボラ）」の養成及び支援を目的に開催しました。

実施日 令和 6 年 12 月 9 日（月）

場 所 社会福祉センター

内 容 ①ちょこボラ実施団体活動発表

②グループワーク「自分たちの地区でちょこボラについて考えてみよう」

参加者 29 名

②認知症地域支援推進員の配置

認知症の人やその家族を支援する相談の場の提供や、認知症になっても本人の意思が尊重され、生きがいを持って住み慣れた地域で生活が続けられるよう、通いの場の開催や地域の支え合いを築くため啓発活動に取り組みました。また、認知症支援のボランティア活動を行うチームオレンジかめやまの活動を支援するチームオレンジコーディネーターとして活動しました。

(1) 集いの場の開催

認知症の人やその家族、地域住民や専門職などが参加でき、日頃の悩みや関わり方について話す場となる認知症カフェを開催しました。

カフェの開催回数 12回（毎月、第4金曜日開催）

場 所 総合保健福祉センター

(2) 市民への啓発活動

地域住民の認知症に対する理解を促進するため、Facebook や YouTube を使用した取り組みを行ったり、ボランティア活動を行うチームオレンジかめやまと認知症について考えるきっかけ作りを行いました。また、チームオレンジかめやまの事務局として、チームメンバーが積極的に活動できるよう意見交換の機会を設けました。

○認知症と家族の会が行う啓発活動への協力

9月21日の世界アルツハイマーデーに亀山市が行う旧亀山城多門櫓のライトアップを背景に YouTube で認知症の啓発を行いました。

○オレンジフラワープロジェクトへの参加

認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を育てる取り組みにチームオレンジかめやまと参加し、認知症についての周知を行いました。

○出前カフェの開催

認知症について考えるきっかけを作りとして、認知症予防の効果や認知症の発症後でも取り組むことで効果がみられるゲームについてチームオレンジかめやまのメンバーと意見を出し合い、出前カフェを開催しました。

	第1回	第2回
実施日	令和6年9月20日（金）	令和6年9月23日（月）
場 所	井田川南コミュニティセンター	野村地区コミュニティセンター
参加者	13名	8名

(3) チームオレンジかめやまの活動支援

地域で暮らす認知症の方を支援するボランティアとして活動するにあたり、認知症の方や家族のニーズを把握し、効果的に活動ができるよう調整を行いました。

○チームオレンジコーディネーター研修の参加

認知症に関する知識の習得や地域における見守り体制の必要性を広めるため、チームオレンジコーディネーター研修に参加し、チームオレンジかめやまのメンバーや市地域福祉課高齢者支援グループと情報共有を行いました。

○全体会の開催

チームオレンジかめやまの活動を推進するため全体会を2回開催し、年間目標の設定や計画の立案、各グループの活動内容の検討、活動の振り返りを行いました。

	第1回	第2回
実施日	令和6年4月10日(水)	令和7年3月3日(月)
場 所	総合保健福祉センター	総合保健福祉センター
参加者	13名	11名

(4) 認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成しました。

◆実施状況

(単位：名)

	実施日	対 象	参加者
1	4月4日(木)	一般(図書館)	13
2	6月14日(金)	一般(図書館)	6
3	8月28日(水)	一般(図書館)	4
4	9月17日(火)	亀山東小学校 4年1組	34
5	9月17日(火)	亀山東小学校 4年2組	33
6	9月27日(金)	白川小学校 3・4年	14
7	10月3日(木)	亀山南小学校 5年	18
8	10月17日(木)	一般(図書館)	7
9	10月23日(水)	神辺地区ふれあいサロン	11
10	11月1日(金)	野登小学校 6年	14
11	12月4日(水)	加太小学校 4年	5
12	12月16日(月)	一般(図書館)	4
13	1月29日(水)	川崎小学校 4年	76
14	1月30日(木)	昼生小学校 6年	8
15	1月31日(金)	福祉委員	49
16	2月5日(水)	関中学校 1年	34
17	2月13日(木)	一般(図書館)	4

18	2月14日（金）・ 21日（金）	亀山高等学校総合生活科 2年 [2日間に分けて実施]	34
19	3月5日（水）	関小学校 4年1組	20
20	3月5日（水）	関小学校 4年2組	21
21	3月30日（日）	亀山市消防団団員（第1・4・7分団）	19
	計		428

令和5年度 実施回数：21回、参加者：465名

③認知症初期集中支援チーム員（カナリアチーム）の配置

認知症の人や疑いのある人と家族に対して、カナリアチーム員とチーム員医師が支援について協議し、集中的・包括的な支援を行い、適切な医療や福祉サービスにつなげられるよう支援しました。

（1）相談件数

（単位：件、名）

	6年度	5年度	増減
相談件数	320	297	23
初期集中支援チーム支援対象者数	23	12	11

（2）認知症関係会議への参画

市が主催する認知症関係会議（認知症初期集中支援チーム活動検討委員会含）に参画し、認知症施策に関する報告や課題の評価・検討等をチーム員医師・サポート医と共に協議しました。

開催日 令和6年6月17日（月）、10月21日（月）、令和7年2月17日（月）

（3）認知症初期集中支援チーム活動検討委員会の開催

認知症初期集中支援チーム活動における事業進捗管理、チームの実績報告・課題の検討意見交換などを市地域福祉課やチーム員医師・サポート医と共に協議しました。

実施日 令和6年6月17日（月）、令和7年2月17日（月）

※認知症関係会議と同日開催

（4）チーム員会議の開催

チーム員医師とケースについて情報共有し、個別ケースでの関わり方や支援について方向性の確立と見直しを行いました。

開催回数：12回開催

（５）認知症地域連携講演会（市民公開講座）の開催

連携型認知症疾患医療センターと共催で、認知症に関する正しい理解を推進するため講演会を開催しました。

実施日 令和 6 年 9 月 14 日（土）

場 所 総合保健福祉センター

講演及び講師

【第 1 部】

認知症の対応を考える～鈴亀地区認知症疾患医療センターとは～

ますずがわ神経内科クリニック 院長 真鈴川 聡 氏

【第 2 部】

認知症の進行にどう立ち向かうか？

ますずがわ神経内科クリニック 医師 鈴木 日子 氏

参加者 52 名

（６）周知・啓発活動

関係機関にカナリアチームの役割について周知を行いました。

○カナリアチーム案内チラシの配布

配布先：市内医療機関・歯科医院・薬局 68 機関

地域まちづくり協議会 22 地区

ふれあい・いきいきサロン 88 団体

○認知症に関わる多職種協働のための研修会での説明

開催日：令和 6 年 8 月 6 日（火）

内 容：事例を用いたカナリアチームの支援の紹介

対象者 34 名（医師、看護師、保健師、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士、生活相談員、作業療法士等）

5 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】

1 訪問介護・居宅介護事業

①介護保険制度

(1) 訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	6 年度	5 年度	増減
利用延べ人数	199	287	△88
派遣延べ回数	3,058	4,636	△1,578
事業収入	11,312,235	16,488,425	△5,176,190
派遣時間数	2,523.5	3,498	△974.5

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に、介護予防を目的として調理、洗濯などの日常生活上の支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	6 年度	5 年度	増減
利用延べ人数	137	190	△53
派遣延べ回数	729	1,013	△284
事業収入	2,277,189	3,077,164	△799,975
派遣時間数	722	938.75	△216.75

②障害者総合支援制度

(1) 居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	6 年度	5 年度	増減
利用延べ人数	157	194	△37
派遣延べ回数	1,040	1,306	△266
事業収入	2,795,828	3,429,947	△634,119
派遣時間数	894	1,134	△240

(2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障がいの方に外出するための移動支援を行いました。
(単位：名、件、円、時間)

	6 年度	5 年度	増減
利用延べ人数	13	13	0
派遣延べ回数	22	32	△10
事業収入	160,846	97,389	63,457
派遣時間数	43.5	22.5	21

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。
(単位：名、件、円、時間)

	6 年度	5 年度	増減
利用延べ人数	1	0	1
派遣延べ回数	1	0	1
事業収入	1,970	0	1,970
派遣時間数	1	0	1

2 生活介護事業 【指定障害福祉サービス事業所「つくしの家」】

①職員配置 (単位：名)

職 名			つくしの家
管理者			1
サービス管理責任者			1
医師（嘱託医）			1
看護師			1
生活支援員	常勤	正規	1
		非常勤	3
	非常勤（登録）		4

②利用実績（定員 30 名） (単位：名、回、円)

	6 年度	5 年度	増減
利用者数	33	32	1
延べ利用人数	5,467	5,257	210
事業収入	44,603,540	43,071,952	1,531,588

③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

また、コロナ禍で中止していました、利用者個人の希望による選択外出を再開し、個々のニーズに合った外出活動を提供しました。

実施日	行事名	場所
4月8日（月）	季節の行事（お花見ウォークラリー）	亀山公園
5月1日（水）	フラワーアレンジメント	つくしの家
6月4日（火） 6月6日（木） 6月7日（金）	季節の行事（花菖蒲園見学）	亀山公園内花菖蒲園
7月5日（金）	季節の行事（七夕茶会）	つくしの家
7月30日（火）	ファミリー交流会	つくしの家
8月23日（金）	夏まつり	つくしの家
10月3日（木）	選択外出（ドライブ・食事）	四日市港ポートビル、イオン日永
10月11日（金）	選択外出（カラオケ・食事）	カラオケまねきねこ イオンモール鈴鹿
10月31日（木）	季節の行事（ハロウィンパーティ）	つくしの家
11月1日（金）	ハイキング	あいあい足湯
11月22日（金）	選択外出（電車・食事）	津駅ホテルグリーンパーク津
12月6日（金）	選択外出（買い物・食事）	イオンモール津南
12月20日（金）	季節の行事（クリスマス会）	つくしの家
1月15日（水）	二十歳のお祝い会	つくしの家
2月5日（水）	季節の行事（節分）	つくしの家
2月14日（金）	季節の行事（バレンタイン喫茶）	つくしの家
3月3日（月）	季節の行事（ひなまつり茶会・大正琴）	つくしの家
3月7日（金）	フリー参観	つくしの家
◆余暇活動 軽スポーツ（ウォーキング・ボッチャ・モルック・スカットボール・ビーンボーリング等） 制作活動（写真パネルづくり・折り紙・アートタイム等） ◆体調チェック 看護師によるバイタルチェック（週1回） 健康診断（年1回 12月17日） 嘱託医師による定期健診（年2回 8月22日・2月27日） ◆ボランティア 音楽クラブによる歌唱活動（年1回 10月7日） ◆その他 避難訓練（年2回全館避難訓練と合わせて実施）		

④調理の日

利用者が調理に取り組むことで「食」への興味を持つとともに、少しでも“自分で出来ること”を増やすことで、生活能力の維持や向上を目的に取り組みました。

実施日	内 容
4月12日（金）	味噌汁、浅漬け
4月26日（金）	ピザ
5月17日（金）	味噌汁
5月31日（金）	デザートピザ、フルーツポンチ
6月28日（金）	カレーライス、マカロニサラダ、甘夏ゼリー
7月30日（火）	バーベキュー（ファミリー交流会）
9月20日（金）	白玉団子
11月15日（金）	カップ麺、おにぎり
12月20日（金）	トライフルケーキ（クリスマス会）
2月5日（水）	チーズハットグ（節分）
2月14日（金）	チョコトリュフ（バレンタイン喫茶）

⑤地域交流

白川小学校や西部地区民生委員・児童委員との交流会をはじめ、中学生の職場体験の受け入れ、中央公民館講座へ参加することで、障がい者への理解を深めていただけるよう啓発に努めました。

実施日	行事名	場所
6月11日（火）	西部地区民生委員・児童委員との交流（レクリエーション）	社会福祉センター3階
6月12日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
6月14日（金）	白川小学校5・6年 体験学習	つくしの家
7月10日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
8月21日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
9月11日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
9月18日（水） ～9月20日（金）	中学生職場体験学習	つくしの家
10月9日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
10月21日（月）	白川小学校全校生徒交流会	社会福祉センター3階
10月28日（月）	キウイフルーツ狩り	野登地区
11月13日（水）	中央公民館ニュースポーツ講座交流会	社会福祉センター3階
11月29日（金）	白川小学校全校生徒交流会	社会福祉センター3階
12月20日（金）	クリスマス会（マックスバリュ亀山店）	つくしの家

1月14日（火）	西部地区民生委員・児童委員との交流 （フラワーアレンジメント）	社会福祉センター3階
2月21日（金）	つくしの家まつり（感謝のつどい）	つくしの家

⑥生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあった軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

委託先	作業内容
（株）アシベ工芸	ろうそく箱詰め
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業
自主作業（佐藤商店）	アルミ缶つぶし

⑦利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、利用体験実習の受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校3年	男	6月17日（月）～6月28日（金）
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校2年	男	10月15日（火）～10月25日（金）
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校1年	男	1月20日（月）～1月24日（金）
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校1年	男	1月27日（月）～1月31日（金）

⑧運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画等について、また今後の事業運営について協議を行いました。

実施日	内 容
2月7日（金）	令和6年度事業経過報告について 令和7年度事業運営について

3 日中一時支援事業 ＜市受託事業＞

障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息ができるよう実施しました。主に生活介護の開所時間外の利用や、特別支援学校生徒の長期休み期間に利用がありました。

（単位：名、円）

	6年度	5年度	増減
契約者数	30（うち生徒2名）	29（うち生徒2名）	1
延べ利用人数	78	161	△83
事業収入	126,470	231,450	△104,980

4 特定・障害児相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

①特定相談支援 (単位：名、円)

	6 年度	5 年度	増減
契約者数	77	72	5
事業収入	3,343,514	2,835,350	508,164

②障害児相談支援 (単位：名、円)

	6 年度	5 年度	増減
契約者数	13	11	2
事業収入	507,856	384,682	123,174

5 社会福祉センターの運営 <市補助事業>

◆年間利用状況〈3 階集会室〉 (単位：件、名)

	6 年度	5 年度	増減
利用件数	473	484	△11
利用人数	8,927	9,122	△195

◆主な工事及び修繕の執行状況】※契約金額 10 万円以上

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	令和 6 年 5 月 20 日	令和 6 年 7 月 24 日
LED 照明取替工事	令和 6 年 6 月 5 日	令和 6 年 7 月 31 日
高圧気中開閉器 (PAS) 取替工事	令和 6 年 6 月 13 日	令和 6 年 8 月 25 日
空調設備修繕工事	令和 6 年 11 月 12 日	令和 6 年 12 月 14 日
トイレ自動水栓取替工事	令和 7 年 3 月 25 日	令和 7 年 3 月 31 日

6 その他

①関係機関への協力、参加（主なもの）

（単位：回）

委 員 会 名	実 施 主 体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市法福連携ネットワーク協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長 次長
亀山市地域自立支援協議会 相談支援のあり方検討部会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市民生委員推薦委員会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長
亀山市高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長 次長
亀山市要保護児童等・DV 対策地域協議会	子ども未来部 子ども未来課	1	会長
亀山市共同募金運営委員会及び審査委員会	亀山市共同募金委員会	3	会長 局長
社会を明るくする運動亀山市推進委員会	社会を明るくする運動亀山市推進委員会	1	会長 局長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
亀山市スポーツ協会監査及び通常総会	亀山市スポーツ協会	2	局長
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 まちづくり協働課	5	次長
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	20	次長
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	局長
北勢地区福祉有償運送運営協議会	北勢地区福祉有償運送運営協議会	2	次長
三重県社会福祉協議会役員会及び理事会	三重県社会福祉協議会	9	会長
三重県社会福祉施設職員研修委員会	三重県社会福祉協議会	2	局長
みえ福祉の「わ」創造事業監査及び運営委員会	三重県社会福祉協議会	4	局長

社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図 【令和7年3月31日現在】

